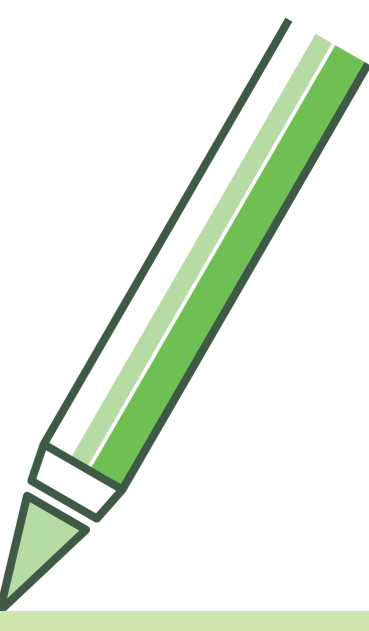




# すまい学習をサポートします

公益社団法人 兵庫県建築士会 住教育支援チーム



## 活動の背景

### ●阪神・淡路大震災の教訓・・・市民の住意識向上の必要性

1995年1月17日 **阪神・淡路大震災**発生  
 死者約6,400人、建物の全壊約10万棟の甚大な被害  
 ↓  
 住宅再建のための相談所“神戸・復興住宅メッセ”開設  
 ↓  
 市民が自ら安全な住まいを選択できる環境の必要性  
 ↓  
 2000年10月  
**神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”開設**

### ●「生きる力」のひとつとしての住まい学習の必要性

自分自身の生活環境をデザインする能力は  
 すべての人に必要  
 ↓  
 「**住意識の向上**」の機会を平等に提供する必要性  
 ↓  
**学校教育での住教育**の実践

## 活動の概要

### ●学校教育での住教育の現状と課題の把握

2002年、学校教育での住教育を実践するため、教育委員会(教育現場)、すまいるネット(行政)、専門家(教育学、住居学、建築士)による「**住教育ワーキンググループ**」を結成。  
 「家庭科教育」の中での取り組み課題の共有化とともに、神戸市内の小・中学校での**モデル授業**を実践。

### ●住教育支援チームによる住教育の実践

より幅広く対応できるよう、2006年、兵庫県建築士会の有志による「**住教育支援チーム**」結成。  
 すまいるネットのコーディネートにより、神戸市内の小・中・高校での「家庭科」「総合学習」の授業に**ゲストティーチャー**を派遣したり、**カリキュラムの相談**などに応じている。

### ●住教育の広がりのために

教師だけでも住教育の対応が可能なよう、2007年発行の「**住教育実践集**」や副読本などへプログラムを公開。  
 2010年制定の「神戸市家庭科、技術家庭小中学校教育家庭基準(神戸スタンダード)」にも織り込まれている。

### ●今後の活動目標

神戸市だけでなく、兵庫県下での活動展開を計画中。

・教育現場における実態把握  
 ・教員への住教育の普及

学校・  
教育委員会  
(教育現場)

住教育ワーキンググループ  
(ネットワーク)

すまいるネット  
・神戸市  
(行政)

・WGの運営とコーディネート  
 ・人材発掘、ネットワーク構築

学識経験者  
・実務者  
(専門家)

・専門的見地からの授業企画提案  
 ・人材、アイデアの提供

住教育支援  
チーム

参画

## 神戸市での協働の関係図

## チームメンバー

メンバー随時募集!

木村、河野、鈴木、田端、早川、日高、松村、八木、山際  
 [オブザーバー]

岡崎、垂水、原、水谷、神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”

## 住教育支援の実績 (H21～H25)

※プログラムの内容・タイトルは、実施校によって多少異なります。

	地震に備えた住まい方			快適な室内環境～換気～	快適な室内環境～音～	安全・安心で暮らしやすい住まい方 (身体寸法と住空間)	住まいの役割	今・昔 住まいにあるもの	計
	小学校	中学校	高校	中学校	中学校				
H21	12回・480人	28回・1070人	6回・400人	7回・245人	12回・430人	—	—	—	65回・2625人
H22	8回・302人	38回・2015人	—	14回・473人	—	—	—	1回・8人	61回・2798人
H23	1回・35人	54回・1942人	—	7回・201人	—	6回・210人	—	—	68回・2388人
H24	2回・70人	36回・1286人	—	5回・182人	—	6回・210人	2回・80人	—	51回・1828人
H25	4回・144人	26回・988人	2回・60人	9回・348人	—	12回・438人	—	—	53回・1978人